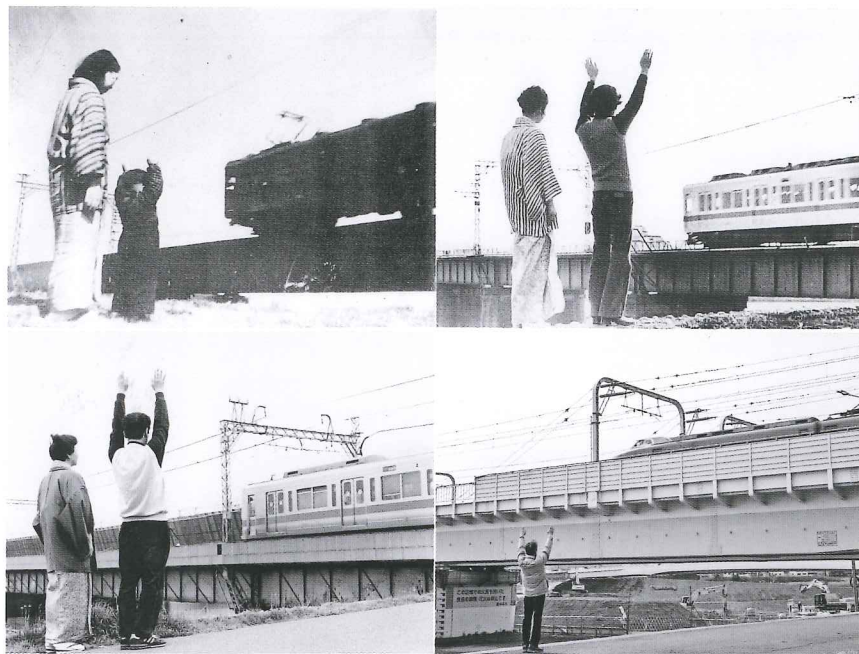


「電車に万歳した日 (1974-2016)」



前橋文学館企画展
萩原朔美館長就任1周年記念

萩原朔美 の仕事展 vol.1

会 期：2017年4月15日(土)～7月2日(日)

開館時間：9時～17時

休 館 日：水曜日

会 場：1階映像展示室、2階展示室、3階オープンギャラリー

観 覧 料：無料 (常設展示をご覧になる場合は観覧料が必要です)

企画監修 ● 石原康臣 協力 ● 榎本了彦、飯沢耕太郎、佐藤時啓、神林優、坂口真理子



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち 前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目 12-10

TEL: 027-235-8011 FAX: 027-235-8512

E-mail: bungakukan@city.maebashi.gunma.jp

http://www.maebashibungakukan.jp/

交通案内

公共機関

JR 前橋駅から徒歩約 20 分
上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約 5 分

自動車

関越自動車道 前橋 I.C から
車で約 15 分

●市営パーク城東のご利用に際しては、駐車券に割引処理いたします。

WORKS 1974-2016



前橋文学館企画展
萩原朔美館長就任1周年記念

萩原朔美 の仕事展 vol.1

何者にも
なれず!
(泣)

あなたは
何者? (笑)

2017年4月15日(土)～7月2日(日)

萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち
前橋文学館



◆ WORKS 1974-2016 ◆

映像作家

平成28年4月に前橋文学館館長に就任した萩原朔美は、映像作家、エッセイスト、写真家、演出家、俳優などの経歴を持っています。館長就任1周年記念として、これまで制作に携わった様々な領域から、映像・エッセイ・雑誌・装幀・アートブック・写真を展示します。

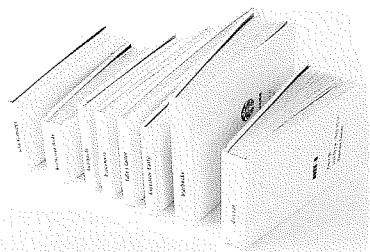
萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館館長の多岐にわたる仕事をご覧ください。

萩原朔美の 仕事展 vol.1

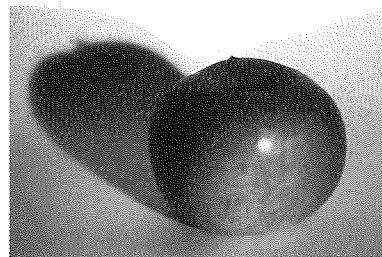
アート ブック



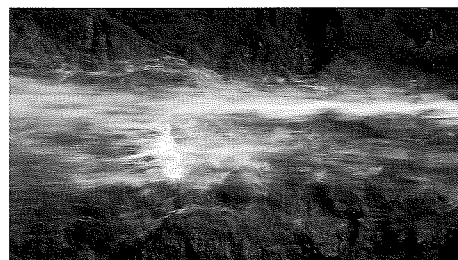
「文字を縫う」(1978)



「レシート」(2015)

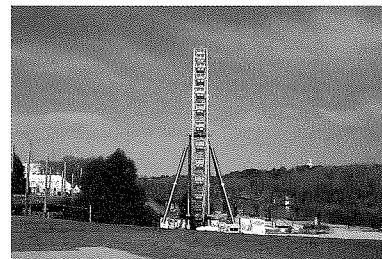


「TIME」(1974)



「左からやってくるもの」(2016)

エッセイスト



「観覧車」(2012)

写真

対談

榎本了壺 × 萩原朔美

「ビックリハウス時代のビックリ話」

1970年代、渋谷パルコ文化を牽引しサブカルチャームーブメントを起こしたパロディー雑誌「ビックリハウス」。創刊に携わった二人が当時について「驚愕」の対談を行います。

日 時：4月30日(日) 14時開演(13時30分開場)

会 場：前橋文学館3階ホール

定 員：100人(申込先着順)

参加費：無料

申 込：4月15日(土) 9時から前橋文学館へ電話でお申込みください。

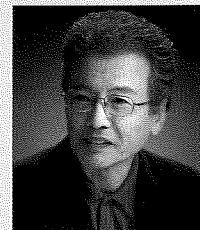
●プロフィール

榎本了壺 (えのもと りょういち)

1947年東京生まれ。クリエイティブディレクター、プロデューサー、アートディレクター。

萩原朔美 (はぎわら さくみ)

1946年東京生まれ。前橋文学館館長、エッセイスト、映像作家。



対談

飯沢耕太郎 × 萩原朔美

「時間を生け捕る」

「時間を生け捕る」手法を用いた作品を提示し続ける萩原朔美。時間を生け捕り続ける「こだわり」と「楽しさ」、対象を決める「嗅覚」について対談を行います。

日 時：6月3日(土) 14時開演(13時30分開場)

会 場：前橋文学館3階ホール

定 員：100人(申込先着順)

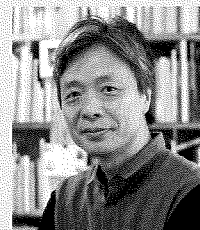
参加費：無料

申 込：5月20日(土) 9時から前橋文学館へ電話でお申し込みください。

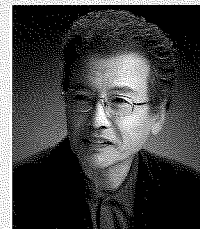
●プロフィール

飯沢耕太郎 (いざわ こうたろう)

1954年宮城県生まれ。写真家、写真評論家。



撮影：高倉大輔



第45回萩原朔太郎忌

「どこがヤバイの？ 朔太郎」

シンポジウム(高橋源一郎 × 穂村弘 × 松浦寿輝)

リーディングシアター

日 時：5月14日(日) 14時開演

場 所：前橋テルサ

入場料：500円

問合せ：朔太郎忌実行委員会(前橋文学館内)